

海賊対処行動派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第 49 次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第 49 次派遣海賊対処行動水上部隊の出国行事が 10 月 5 日に開催され、4 度目の海賊対処行動に赴く護衛艦「むらさめ」が神奈川県横須賀市から出航した。

早川正紘艦長が指揮を執る「むらさめ」には、ソマリア周辺海域派遣捜査隊を編成する松田智紘隊長以下海上保安官 8 名を含め、約 200 名が乗り組み、現在活動中の第 48 次隊の護衛艦「さみだれ」と交代する。なお、同艦は中東地域における情報収集活動も兼務することとしている。

式典では大町克士自衛艦隊司令官が「自分にしかなしえない責務をしっかりと全うし、「むらさめ」乗組員が“ワンチーム”となって任務にかかることを期待する。海賊対処行動はわが国の海上安全の確保に直結し、国内外から高い評価を受けている。任務の遂行、無事の帰国、そして元気な姿で再会できることを祈念する。」と訓示した。

また、彼末浩明海上保安監は、「国際海上物流の要所であるソマリア沖、アデン湾におけるわが国の海賊対処行動は長きにわたり、日本のみならずあらゆる国籍の船舶および乗組員の安全を確保してきた。今回も最高のパフォーマンスを発揮すると確信している。」と挨拶した。

当艦乗員を統べる早川艦長が、「チーム「むらさめ」は一丸となり安全確実な任務遂行を目指します。」と報告した。

当協会からは明珍会長が「日本商船隊の安全を宜しく願います。また、皆様のご安航をお祈りいたします。」と任務に赴く乗員に想いを伝えた。

当協会からは明珍会長をはじめ、土屋副会長・篠原理事長・平尾常務理事、日本郵船 樋口常務執行役員、商船三井 佐々木執行役員、川崎汽船 綾専務執行役員、飯野海運 落岩海務部長、NS ユナイテッド海運 高見執行役員、NYK バルク・プロジェクト 亀田理事、三菱鉱石輸送 池田安全・環境・品質保証グループ長、乾汽船 小坂副部長が、国際船員労務協会から井上会長・池田常務理事が、全日本海員組合から池谷国際局長、遠藤部長が参加した。

参加者一同は雨の降る岸壁から日本を離れる「むらさめ」の安全航海と乗員の無事を祈りつつ、手を振って見送った。

出国行事



訓示する大町自衛艦隊司令官



挨拶する彼末海上保安監



出国報告を行う早川艦長



出席した明珍会長



挨拶する明珍会長



登舷礼で出航する「むらさめ」



出港を見送った参加者